

令和7年度 事務事業評価一覧

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和7年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的方向性
1	広報広聴課	広報編集・発行事業	市政情報を積極的に発信・提供し、市民との情報の共有化を行い、市民の市政に対する理解や協力を得ることで、協働によるまちづくりの推進を図る。	①市報ふじみ野を月1回、計12回発行した。また、市報からおおむね12,000字を抜き出して、視覚障がい者を対象に、声の広報、点字広報をそれぞれ月1回、計12回発行した。 ②市報ふじみ野に、市内事業者にご協力をいただき、読者プレゼントコーナーを引き続き実施した。これにより、読者にとってはプレゼントがもらえ、事業者にとっては新たな顧客の獲得につながり、市にとっては読者の感想が得られるといったWin－Win－Winの取り組みとなる。 ③市内111か所の広報板の維持管理を行った。板面が硬い広報板が見受けられることから、中間層に柔らかい素材を使用している板面等を試験的に導入し、耐久性に支障がないか経過確認を行った。 ④広報板を活用し、ホームページなどを見ることができない環境にある人に対する情報提供を行った。	61,641	広報板への掲示申請受付数(件)	400	400	継続
						市民カメラマンの登録数(人)	4	5	
2	広報広聴課	広聴事業	市民の市政への参画の手法を多様化させ、市と市民等による協働のまちづくりを推進する。	タウンミーティングを市内エリア単位で8回実施した。市長自らが政策等を説明した後、参加者から地域の皆さんが日頃思うこと、生活していて気づいた細かいことなどについて意見をいただき、いただいた意見は庁内の関係各課で共有し、検討・対策を図った。令和7年度は、市内地域を8つに分けて集合型のタウンミーティングを実施した。	8,562	「市政への提案」の受付件数(件)	155	121	継続
						「市政への提案」に寄せられた意見の市政への実現割合(%)	40	51.16	
3	広報広聴課	ホームページ管理運営事業	市政情報発信の即時性、情報入手・検索の容易さ、見やすさ使いやすさ等、市民生活の利便性向上に寄与するホームページとしていく。	①市ホームページを支障なく安定的に公開した。 ②メール配信サービス(Fメール)を活用し、登録者に対し情報発信した。SNSと連携することで希望者に対し、迅速な情報提供を実施した。 ③SNS(X(旧Twitter)、Facebook、LINE、Instagram)を活用し、幅広い年代へ向けた情報発信を行った。	18,197	ホームページアクセス件数(件)	3,130,000	3,328,128	継続
						メール配信サービスの登録件数(件)	51,000	58,844	
4	広報広聴課	シティプロモーション事業	行政と市民が協力しながら、子育てしやすいまちをPRするとともに、市の魅力を市内外にアピールすることで、本市の魅力の発信や知名度を向上させ、ふじみ野市へ人を呼び込む。	①市内事業者の商品やサービスを全国にPRしていくため、ふるさと納税返礼品の拡充を図った。②マスメディアへの積極的な情報提供を進めていくため、令和4年度から、プレスリリース配信サービス(最大300媒体への情報提供)を新たに利用し、従来の記者クラブへのプレスリリースに加え、積極的に市の事業・魅力を発信した。③シティプロモーション動画をタウンミーティングやYoutube・SNSで上映した。また、民間広告を活用し、池袋駅やスシローのデジタルサイネージ、JcomのCMなどで上映し、幅広いPR活動を実施した。④20周年記念事業として、カウントダウンフォトやSNSを活用したハッシュタグ投稿イベントを実施した。⑤シティプロモーション特設サイト「みんなの！ふじみ野」を公開し、地域情報を自由に投稿する場を整え、シティプロモーションの推進を図った。	21,891	寄附金額(円)	20,000,000	15,371,000	継続